

はじめに

昨年来の米国サブプライムローン問題に起因する世界同時株安、原油・食糧価格の高騰、地球温暖化による気候変動の猛威等から、世界経済は、大きく減速する局面に入りました。地球レベルでの不安要因が増加するなかで、国内においても、政治の停滞、急激な円高ドル安、輸出主導の経済成長の頭打ち、輸入資源の価格急騰による物価上昇、所得格差の拡大、地域社会の高齢化、社会性や公共性の疲弊等、今日、様々な憂慮すべき事象が顕在化しつつあります。

目を教育界に転じると、安倍前政権が推進した「教育再生」では、財務省主導の財政再建の前に、改正教育基本法の掲げる私立学校教育の振興や教育振興基本計画に係る予算拡充は先送りされ、一方、教育人口の中核を占める若年層の減少は毎年確実に進行しています。私学は、定員割れや帰属収支レベルでの赤字の増大等、ますます厳しい経営環境に立たされていくものと予想されます。

今後、学園の将来を見据えていく上で、われわれ関係者は、教育を取り巻く環境の新たな変化の兆しを見逃すことなく、適切な対応策を立てることが求められます。

現代女性の高度な能力開発の期待に応えるため、学園が行ってきた女子高等教育の改革は、人文科学系の単一の教育領域を、他の女子大にない社会科学系の教育領域を加えて異分野にまたがる複数の教育領域に転換するとともに、短期大学部と女子大学という並列的な大学設置のあり方を一本化し、中学高校、大学学部及び大学院研究科という直列的な設置に再構築することにより、より高い教育力の獲得を図るものでありました。また、中学高校も、生徒の生活自律・学習自立の教育理念を立て、平成20年度から面倒見がよく大学受験にも高度に対応できる一貫教育体制にシフトして、公立校の進化にも負けない、選ばれる私立として高い競争力確保を目指すこととなりました。

このように学園は、明治維新以来、いち早く女性に対する高度な教育の重要性を見抜き先導してきた跡見の伝統ある教育精神を今日も追求し続けております。この方向性をより確かなものとするため、平成20年10月を期して、短期大学部廃止後の大学茗荷谷キャンパスを新たな志願者開拓のための都心キャンパスとすることを目指し、9階建ての新棟を建築中であります。中学高校でも、中学1年8クラス編成等による教育課程の改革に対応するため、平成20年6月を期して、グランド東側に2階建ての教室棟建築に着手いたしました。また、教学とともに学園の将来を支える事務分野についても、茗荷谷と新座の2キャンパスを同時に視野に入れた新たな基幹業務システムの活用を徹底し、業務処理の迅速化と組織運営の効率化を進めて参りました。

日本における内外の厳しい環境は、今後の学園経営にも大きな影響を及ぼしてまいります。特に最近における世界経済の不安定化と国内景気の後退は、これまで以上に注意する必要があります。学園としては、如何なる環境の変化にも対応できる健全な財務を維持するため、大きな戦略的投資である新棟等の完成後であっても、些かの不安も生じることのない財務運営を図っていく所存であります。

・学校法人跡見学園寄附行為

大正二年十一月二十一日制定

(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来経営して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、大正二年十

一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健全な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

・法人の概要

1. 学校法人の沿革（概要）等

- 明治8年1月8日 学祖跡見花蹊、東京神田に跡見学校を開設
- 21年1月8日 小石川柳町に校舎移転
- 大正2年11月21日 財団法人跡見女学校設立認可
- 昭和8年1月11日 小石川大塚校舎移転
- 19年4月1日 高等女学校令により跡見女学校を跡見高等女学校に改称
- 21年3月30日 跡見高等女学校専攻科設置認可（修業年限3年 文科国文、家政科）
- 22年4月1日 跡見学園中学部設置認可（学制改革による）
- 23年3月10日 跡見学園高等学校設置認可（学制改革による）
- 24年3月31日 跡見高等女学校廃止認可
- 24年4月1日 跡見学園高等学校専攻科（文科：国文・英文課程、家政科：家政保健・生活芸術課程）及び別科設置認可
- 25年3月14日 跡見学園短期大学設置認可（文科国文・家政科〔家政保健・生活芸術課程〕修行年限2年）
- 25年3月31日 跡見学園高等学校別科廃止
- 25年11月10日 跡見学園中学部を跡見学園中学校に改称
- 26年2月21日 財団法人跡見女学校より学校法人跡見学園に組織変更認可
- 26年3月31日 跡見学園高等学校専攻科生徒募集停止
- 27年2月20日 跡見学園短期大学生生活芸術科増設認可
- 29年4月1日 跡見学園高等学校専攻科廃止届
- 33年2月6日 跡見学園高等学校・中学校の「6年制一貫教育」体制の実施
- 40年1月25日 跡見学園女子大学（文学部国文学科、美学美術史学科）設置認可
- 41年12月26日 跡見学園女子大学文学部英文学科増設認可
- 49年1月23日 跡見学園女子大学文学部文化学科増設認可
- 50年10月21日 跡見学園創立100周年記念式典挙行
- 57年1月16日 跡見学園短期大学入学定員変更、文科英文専攻課程設置認可
- 60年12月25日 跡見学園短期大学文科英文専攻課程に臨時的定員増認可
- 平成2年9月28日 跡見花蹊生誕150周年記念式典挙行
- 2年12月21日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増認可
- 6年8月30日 跡見学園短期大学から跡見学園女子大学短期大学部に名称変更認可
- 7年11月11日 跡見学園創立120周年記念式典挙行
- 7年11月15日 跡見学園女子大学花蹊記念資料館開館
- 11年10月20日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増延長認可
跡見学園女子大学短期大学部に臨時的定員増延長認可
- 13年5月29日 跡見学園女子大学文学部4学科（国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科）を改組し、文学部人文学科の設置認可

- 開設時期 平成14年4月1日
- 13年8月1日 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科設置認可
開設時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部文科収容定員増に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部文科英文専攻課程の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部家政科収容定員減に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部生活芸術科収容定員減に係る学則変更認可
変更時期 平成14年4月1日
- 13年12月20日 跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科設置認可
開設時期 平成14年4月1日
- 14年3月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科の学生募集停止届出
実施時期 平成14年4月1日
- 14年4月1日 跡見学園女子大学文学部人文学科・臨床心理学科、マネジメント学部マネジメント学科開設
- 15年7月11日 跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程及び英文専攻課程名称変更届出
跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程・英文専攻課程及び家政科の収容定員変更届出
- | | 入学定員 |
|-------------------------|-------------|
| 文科国文専攻課程 → 言語文化科日本語専攻課程 | - 10名 (60名) |
| 文科英文専攻課程 → 言語文化科英語専攻課程 | + 5名 (100名) |
| 家政科 | 5名 (100名) |
- 変更時期 平成16年4月1日
- 15年7月22日 学校法人跡見学園寄附行為変更届
名称変更：短期大学部文科 → 短期大学部言語文化科
文科国文専攻課程 → 言語文化科日本語専攻課程
文科英文専攻課程 → 言語文化科英語専攻課程
- 15年8月1日 跡見学園女子大学短期大学部収容定員関係学則変更届出書の受理通知受領（文部科学省大学課短期大学係）
- 16年11月30日 跡見学園女子大学大学院人文科学研究科日本文化専攻・臨床心理学専攻設置認可
開設時期 平成17年4月1日
- 17年3月23日 評議員会・理事会において可決承認
跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置
跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置
以上開設時期 平成18年4月1日
跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止
実施時期 平成18年4月1日
- 17年4月1日 代表権者確認の変更登記

- 「私立学校法の一部を改正する法律」(平成16年法律第42号)の施行に伴う変更登記
- 17年4月5日 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置届出
跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置届出
跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止の報告
以上開設・実施時期 平成18年4月1日
- 17年6月21日 跡見学園第19期役員・評議員改選、選任完了
- 17年7月29日 跡見学園女子大学文学部人文学科、臨床心理学科及びマネジメント学部マネジメント学科の収容定員変更認可
人文学科 1,440名
臨床心理学科 480名
マネジメント学科 880名
変更時期 平成18年4月1日
- 17年10月20日 跡見学園130年史『跡見学園 130年の伝統と創造』刊行
- 17年11月12日 跡見学園創立130周年記念式典挙行
- 17年12月5日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科マネジメント専攻設置認可
開設時期 平成18年4月1日
- 17年12月13日 評議員会・理事会において可決承認
「跡見学園女子大学短期大学部の施設拡充計画(概要)」
工期 平成19年4月～平成20年9月
- 17年12月20日 『跡見花溪日記』刊行(全5巻のうち 第1巻～第4巻まで刊行)
- 18年3月27日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科設置計画の変更協議書の提出(文部科学省大学設置室法人係)
- 18年9月30日 跡見学園女子大学文学部美学美術史学科廃止
届出日 平成18年9月28日
- 18年12月5日 「大学教員組織の整備」 学校教育法を一部改正する法律(平成17年法律第83号)
助教授に代えて准教授を設けるとともに、助教を新設する。
大学及び大学院の学則を変更することを評議員会、理事会において承認可決し、文部科学省に提出
施行日 平成19年4月1日
- 19年3月27日 理事会・評議員会において可決承認
短期大学部の廃止及びそれに伴う寄附行為の変更について決議
- 19年3月31日 跡見学園女子大学短期大学部閉学(文部科学大臣の認可を待って廃止予定)
跡見学園女子大学文学部英文学科廃止
届出日 平成19年3月29日
- 19年4月20日 『跡見花溪日記』第5巻刊行 『別巻 参考資料・補遺編』として刊行
- 19年4月23日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可申請
- 19年5月22日 跡見学園女子大学文学部文化学科廃止
届出日 平成19年5月21日
- 19年6月11日 跡見学園女子大学短期大学部廃止認可
短期大学部廃止に伴う寄附行為の変更登記
登記日 平成19年6月19日

短期大学部廃止に伴う寄附行為変更登記完了の届出

届出日 平成19年 7月 2日

19年 9月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科廃止

届出日 平成19年 9月27日

20年 3月25日 理事会・評議員会において可決承認

跡見学園中学校高等学校の教室棟増設に関する件について決議

跡見学園鶴原寮の建物等の解体に関する件について決議

20年 3月31日 跡見学園鶴原寮閉寮

2. 設置する学校・学部・学科等

(1) 女子大学

創設年度 = 昭和40年度

1) 大学院

(単位：名)

研究科・専攻名		開設年度	入学定員	編入学 定 員	入学者数 (19年4月1日)	収容定員	学生数 (19年5月1日)
人文科学研究科	日本文化専攻	平成17年度	8		5	16	12
	臨床心理学専攻	平成17年度	12		12	24	26
マネジメント研究科	マネジメント専攻	平成18年度	15		6	30	11
合 計			35		23	70	49

2) 学 部

(単位：名)

学 部・学科名		開設年度	入学定員	編入学 定 員	入学者数 (19年4月1日)	収容定員	学生数 (19年5月1日)
文学部	国文学科	昭和40年度					1*
	文化学科	昭和49年度					0*
	人文学科	平成14年度	360		445	1,520	1,789
	臨床心理学科	平成14年度	120		129	440	506
	コミュニケーション 文化学科	平成18年度	90		117	180	200
マネジメント学部	マネジメント学科	平成14年度	215	10	246	840	942
	生活環境マネジメント学科	平成18年度	80		85	160	135
	合 計		865	10	1,022	3,140	3,573

* 平成14年度学生募集を停止し、美学美術史学科は平成18年 9月30日、英文学科は平成19年 3月31日、文化学科は平成19年 5月22日、国文学科は平成19年 9月30日にそれぞれ廃止となった。

(2) 女子大学短期大学部

創設年度 = 昭和25年度

平成18年度学生募集を停止し、平成19年3月31日をもって全ての学生が卒業したことにより、平成19年4月23日に文部科学大臣に対して跡見学園女子大学短期大学部の廃止に伴う学則変更認可申請及び寄附行為変更認可申請を提出し、平成19年6月11日付で廃止が認可された。

(3) 高等学校

創設年度 = 昭和23年度

(単位：名)

学科・課程名	開設年度	入学定員	入学者数 (19年4月1日)	収容定員	生徒数 (19年5月1日)
全日制課程普通科	昭和23年度	300	266	900	797

(4) 中学校

創設年度 = 昭和22年度

(単位：名)

開設年度	入学定員	入学者数 (19年4月1日)	収容定員	生徒数 (19年5月1日)
昭和22年度	300	279	900	829

3. 学園役員・評議員(第19期)

(平成20年3月31日現在)

(1) 理事 13名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
跡見 純弘	理事長	菊池 慶子	卒業生
山崎 一穎	常務理事、中学校・高等学校長	奥村 良子	卒業生
吉田 一恵	常務理事、法人事務局長	宮本 文昭	保証人
嶋田 英誠	女子大学長	日下部 禧代子	学識経験者
山田 徹雄	女子大学副学長	佐藤 正昭	学識経験者
島野 卓生	中学校・高等学校主事	伊藤 大一	学識経験者
唐沢 徹	女子大学教授		

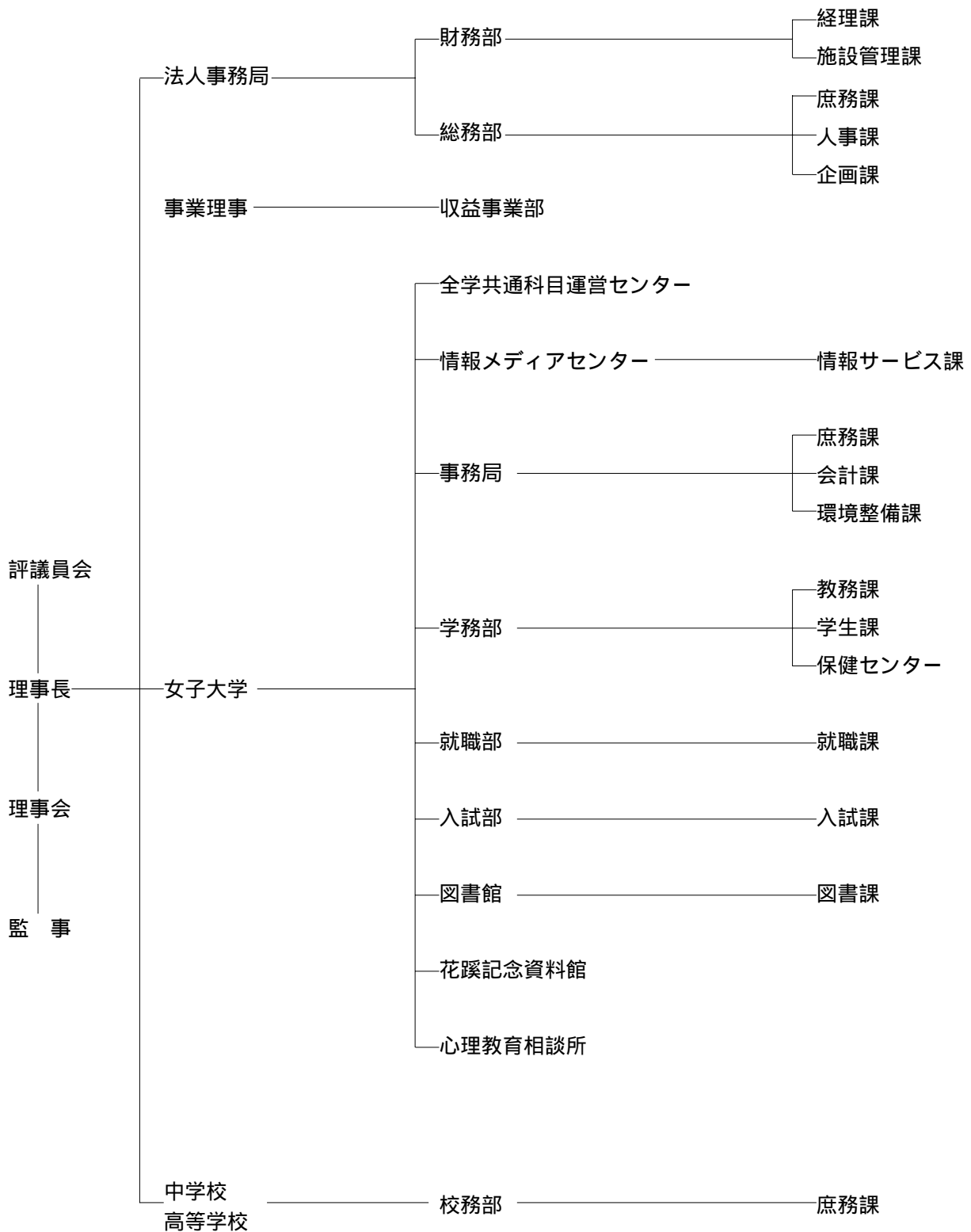
(2) 監事 2名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
塩谷 睦夫	学識経験者	金井塚 清	学識経験者

(3) 評議員 35名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
唐沢 徹	女子大学教授	嶋田 英誠	女子大学長
山本 貞雄	女子大学教授	山崎 一穎	中学校・高等学校長
倉石 あつ子	女子大学教授	山田 徹雄	女子大学副学長
花澤 英夫	中学校・高等学校教諭	島野 卓生	中学校・高等学校主事
植松 茉莉子	中学校・高等学校教諭	吉田 一恵	法人事務局長
堀 雅裕	法人事務局次長	石上 恵一	保証人
菊池 慶子	卒業生	赤須 惣一	保証人
木村 安子	卒業生	佐藤 剛	保証人
岡田 章子	卒業生	山崎 正樹	保証人
飯沼 三枝子	卒業生	安永 明浩	保証人
奥村 良子	卒業生	小林 真智郎	保証人
山下 陽枝	卒業生	奥泉 辰夫	保証人
萬葉 洋子	卒業生	宮本 文昭	保証人
田中 恵美子	卒業生	佐藤 正昭	学識経験者
小森 いと子	卒業生	日下部禧代子	学識経験者
藤田 理恵子	卒業生	湧井 恭行	学識経験者
福岡 みつゑ	卒業生	中島 健一	学識経験者
大塚 和子	卒業生		

4. 事務組織 (平成19年4月1日現在)



5. 専任教職員の概要（平成19年4月1日現在）

（1）跡見学園女子大学

学 長 嶋田 英誠

副学長 山田 徹雄

1) 大学院

人文科学研究科(学部専任教員 14名兼任)

マネジメント研究科(学部専任教員 10名兼任)

2) 学部・学科

専任教員 合計 88名

イ) 文学部人文学科

教 授 29名

准 教 授 5名

専任講師 2名

ロ) 文学部臨床心理学科

教 授 7名

准 教 授 5名

専任講師 0名

ハ) 文学部コミュニケーション文化学科

教 授 9名

准 教 授 1名

専任講師 0名

ホ) マネジメント学部マネジメント学科

教 授 12名

准 教 授 8名

専任講師 1名

ヘ) マネジメント学部生活環境マネジメント学科

教 授 5名

准 教 授 3名

専任講師 1名

専任職員 合計 66名

イ) 事務職員 60名

ロ) 技術職員 4名

ハ) 用務職員 2名

（2）跡見学園中学校・高等学校

校 長 山崎 一穎

主 事 島野 卓生

1) 専任教員 合計 64名

教 諭 60名

専任講師 4名

2) 専任職員 合計 17名

事務職員 13名

技術職員 1名

用務職員 3名

（3）法人事務局

法人事務局長 吉田 一恵

法人事務局次長 堀 雅裕

1) 専任職員 合計 24名

（収益事業部2名を含む）

事務職員 22名

技術職員 1名

用務職員 1名

6 . 各機関の所在地

(1) 跡見学園女子大学

住 所 〒352 - 8501 埼玉県新座市中野1 - 9 - 6
 電 話 048 - 478 - 3333 (庶務課直通)
 F A X 048 - 478 - 3111 (庶務課)

(2) 跡見学園中学校・高等学校

住 所 〒112 - 8629 東京都文京区大塚1 - 5 - 9
 電 話 03 - 3941 - 8167 (庶務課直通)
 F A X 03 - 3941 - 8685 (庶務課)

(3) 跡見学園法人事務局

住 所 〒112 - 8629 東京都文京区大塚1 - 5 - 9
 電 話 03 - 3941 - 8161 (庶務課直通)
 F A X 03 - 3941 - 8162 (庶務課)

7 . 校 外 施 設

(1) 北軽井沢研修所

住 所 〒337 - 1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地蔵堂1991 - 92
 電 話 0279 - 84 - 2362
 F A X 0279 - 84 - 1178
 収容人数 約80名
 テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

(2) 鶴原寮

住 所 〒229 - 5243 千葉県勝浦市鶴原901
 電 話 0470 - 76 - 0107 (F A X 兼)
 収容人数 約50名
 臨海施設として、クラブ活動、ゼミ・研修などに活用できる。

(平成20年3月31日閉寮)

(3) 学生寮

住 所 〒352 - 0011 埼玉県新座市野火止5 - 17 - 17
 電 話 048 - 478 - 3337 (F A X 兼)
 収容人数 133名
 設 備 全室個室 (洋室)
 バス、トイレ、エアコン、冷蔵庫、机、ベット、電話、インターネットアダプタを完備
 食堂、談話室、作法室、レッスンルーム、コインランドリー設置
 食 事 平 日 : 朝食・夕食
 日・祝日 : 朝食のみ